
flashback trip syndrome

朝比奈誓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

flashback trip syndrome

【ZINE】

Z0112Z

【作者名】

朝比奈誓

【あらすじ】

公磨は世界を救うのと引き換えに自分の存在を失った。

公磨は自分の世界とは違つ場所で、どんな選択をするのか。

同作者の小説とは関連性はありません。全く別のストーリーです。
結構短いかも。

俺は、日本の未来を守つた。輪転機を逆回転させ、世界再編を成し遂げた。

それは良いことだと思つていた。だつてあのままじが直撃したら日本は消滅していたし、長期間のハイパーインフレ状態も嫌だろ。たとえ今までと少し違う——通貨がドルの世界になつてしまつたつて、この国の未来は守れた。

だけど…逆回転の代償はあつた。

自分自身の存在が、消えていた。俺の事は誰一人覚えていなかつた。何処のデータを探しても無駄だつた。身分の証明が出来ないからマトモな仕事にも就けないし、住居にも困つた。今では各地のホテルやネットカフェを転々とする毎日。

ただ、金に困る事は無かつた。

ダークネスカードのアントレプレナーだつたからだ。これだけは唯一、前の世界と同じ事だった。ちなみにアセットは真朱ではない。しかし金融街で前の俺を覚えていたのが真坂木だけだし、あいつを幾ら問いただしても『上の者が決めたことですから』の一点張り。俺は、これからどうなるんだ。

#2 (前書き)

日指せ一日一話投稿。

今日は「ディール」だった。

対戦相手はマッチングで選ばれた「ゴールドカード」の一流企業のサラリーマン。大金を手にして金融街にハマったとかいう典型的なアントレだ。

結果は成長率 + 8% の俺の勝利。ダークネスだが生活に必要な金をほぼミダスマネーで賄っている俺にとってディールに負けるのは致命的だ。だから毎回「ディール」にはどうしても力が入ってしまう。流石に相手を破産させる事は無いが、以前の様にバランスディールをするという事も無くなつた。

新しい俺のアセットは真朱殆ど強力では無いが、なかなか使い勝手はいい。一体だけで十分に戦うことができる。

.....

日が暮れて、冷え込んできた。

とりあえず俺は安価なホテルにチェックインし、今夜の寝床を確保する。新しい世界に来てから寝床を確保するのが日課になつてしまつたのが、我ながら辛い。

部屋に入ったもののやる事も無いので、テレビを見る事にした。映つたのは、夕方のよくあるニュース番組。円安が進んでいく感じ、政府や日銀の対応が悪いだとコメントーターがああこいつつている。

だけど、「この世界はまだ「C」が起きるような状態じゃ無いし、良いじゃないか。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0112z/>

flashback trip syndrome

2011年12月1日19時47分発行